

令和6年度

1 福岡県ノーリフティングケア普及促進事業 実践報告

ノーリフティングケアの実施

～2年目の再挑戦～



社会福祉法人 なのみ一校会
特別養護老人ホーム 垣生の里

2

1年目でつまづいたこと

■ 実技講習 リスクマネジメント（ラウンド）の計画中断

年末からのコロナ発生と離職者増加が理由で、業務負担や部署間での行き来制限が発生し中断。一度止まってしてしまうと再開が難しく計画通りに実行できず。

■ 2年目継続タイミングに施設長交代＆新組織体制への変換。

施設長へ1年目の活動状況報告やノーリフティングケアの理解と取り組み継続の承諾を得るところから始まる。また全委員会が一斉に各委員会の活動方針が定まっていなかった。



それでも

3

昨年度から継続して行っている事①

■ 委員会

ノーリフティング委員となるメンバーはほとんど残っており、昨年度の取り組みや、進捗状況が理解できている。

■ 始業前の“これだけ体操”

目のつく場所に掲示しており多くの職員が実践。全職員とまでは浸透できていないためユニットリーダーやノーリフティング委員が推進を継続している。



痛みのレベル	主な症状	生活までの影響	対応の難易度
重度	常に痛みがあり、業務だけでなく日常生活にも支障を来している。特に、足にむくみがありつらい状態。痛み止めなど、必要とする場合もある。	歩行について支障が出る。車に乗り込む作業はコルセットを着用し、乗降を介助する。特に、専門職への相談も必要。痛みがある時は、活動は控えなければならない。	このレベルは、最も危険な状態。すぐに医師の診察を受ける必要がある。
中重度	業務への支障は来ているが、日常生活への支障はない。コルセットやストレッチ、市販薬にて対応ができています。	歩行時の痛みは我慢が必要。業務によってはコルセットを着用し、乗降の介助を必要とする場合がある。日々の活動に支障が出る。	このレベルは、注意が必要。継続的なケアが必要。
軽度	時に痛みを感じるが、腰が痛くなる程度で業務や日常生活への支障はない。	継続的なケアが必要。ストレッチやマッサージを行う。コルセットは必要ない。	このレベルは、継続的なケアが必要。
なし	腰に違和感はなく業務への支障なし。	継続的なケアが必要。ストレッチやマッサージを行う。	このレベルは、継続的なケアが必要。

それでも

4

昨年度から継続して行っている事②

■ 介助姿勢

実技教育後から各々が不良姿勢にならないよう、柵・ベッド高さ・体の向き・手元作業を意識するようになった。去年と比較すると**ベッドの高さを調整**しない職員はほとんど見かけなくなった。

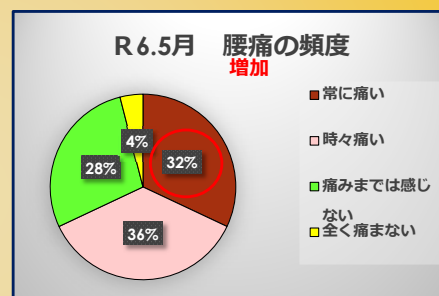
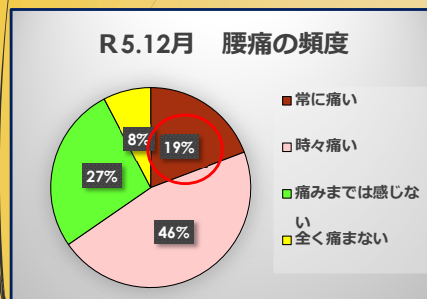
■ 入浴ストレッチャーの使用

要介護度の高い方の入浴介助では抱え上げの介助がなくなりストレッチャー・フレックスボードの使用が定着。「時間がかかるから」と抱え上げていた職員がゼロになった。



5

腰痛調査の比較



・「常に痛い」割合が13%増加 / 「常に」「時々痛い」65%→68%
欠員の多い時期でマンパワー不足で無理な介助方法が増えたと考えられる

しかし

日常業務における「持ち上げや抱え上げ」について、前回は「ほとんどがそう」「一部あり」を合わせると96%であったが、今回は合わせて75%と前回より減少していることから少しずつ変化していると考えられる為、ノーリフティングケアの取り組み継続の必要性が実感できた。

6

改善点① 福祉用具管理方法の見直し

Before

デジタル管理

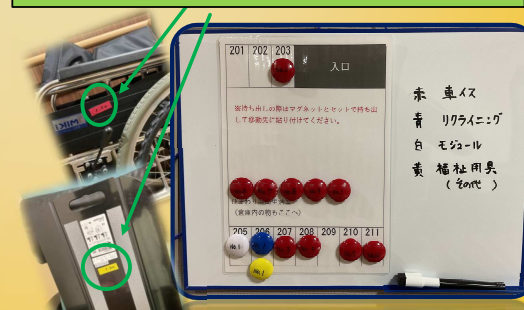
1年目の計画でエクセル表での管理をしていたが更新が都度行えず、持ち出しルールも出来ていなかったため所在が不明瞭。

After

アナログ管理

マグネットとホワイトボードを活用し所在確認が明確になった

対になるマグネットと同時に持ち出すルールを採用



7

改善点②-1 アセスメント（カンファレンス）

- 不定期（ない場合も）だった**担当者会議**が必ず開催されるようになり次に繋がるようになった！

1フロビーにて開催

さんへ

様の担当者会議を開催いたします。

都合の良い日時を5日程あげてください。

ご家族の都合と併せて日時を決めたいです。

希望日時

①	日	時
②	日	時
③	日	時
④	日	時
⑤	日	時

月 日まで返事ください。 月 日 日中

様担当者会議

決定日時

月 日 時 ~

1フロビーにて開催

担当者会議が**不定期開催**で日程調整も連携がとれていなかった為 参加も不確実だったが担当者会議の日程調整の用紙を導入しシフト作成時（リーダー）に**調整可能**となった。



まだ継続段階だが、多職種でのカンファを行うことで以前より情報共有できるようになり個別プランニングに反映されやすくなった。

8

改善点②-2 アセスメント（カンファレンス）

- 同様にユニット会議開催も再始動するようになった



ユニット会議も 第一週の月曜日 といったように開催日の**固定ルール作り**をすることで 各職種で日程調整がしやすい工夫を行った。それ以降は 確実にユニット会議が行えていて情報共有が以前よりできるようになった。

このユニット会議では介護職員・ケアマージャー・看護師で構成されており このユニット会議や担当者会議からの情報をケアプランへの落とし込みが出来るようになった。今後は...

ノーリフティングの視点をケアプランに取り入れる

再始動① 実技教育

- 年末と夏に2度コロナ蔓延があり計画中断と再開を繰り返した。一度止まると再スタートが難しくその度に、再計画からやり直すこととなった。以前作った進捗状況の確認シートを改修し現在も少しずつ取り組みを行っている。自施設の特徴とも感じられるが実技教育に積極的に取り組む職員が多いためこの強みを活かして計画を継続する。

皆が進捗の確認をできるようにすることでモチベーション維持を図った

【ノーリフティングケア】教育実施状況 確認用シート

① step4 の技術習得 動画視聴～実習

職員 氏名	技術テキスト①		技術テキスト②		技術テキスト③		技術テキスト④	
	身体の扱い方	起き上がり方	起き上がり方	起き上がり方	起き上がり方	起き上がり方	起き上がり方	
Q1動画	実習	Q2動画	実習	Q3動画	実習	Q4動画	実習	
✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	

【ノーリフティングケア】教育実施状況 確認用シート

① step4 の技術習得 動画視聴～実習

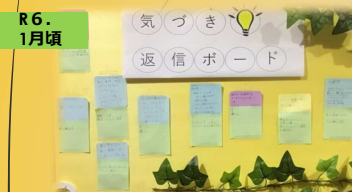
職員 氏名	技術テキスト①		技術テキスト②		技術テキスト③		技術テキスト④	
	身体の扱い方	起き上がり方	起き上がり方	起き上がり方	起き上がり方	起き上がり方	起き上がり方	
Q1動画	実習	Q2動画	実習	Q3動画	実習	Q4動画	実習	
✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	

※実施者、目付記入

11月下旬に実技教育参考書を購入することとなった。これを実技教育マニュアルとし実技教育研修に役立てていく！（進行中）

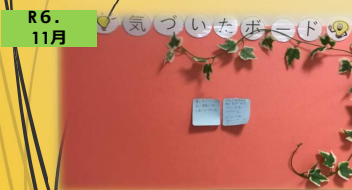
再始動②-1 職員からの「気づき」

R6.
1月頃



1年目の計画当初は皆が「気づいたボード」を活用し多くの意見を出してくれていた

R6.
11月



R6.
8月



継続せず。事務局配布のPDF資料を元にユニット会議時に再度リスクの抽出することについて説明。気づきで付箋の活用を促す。

再始動の旨は伝わっている様子だが、付箋の数が以前と比較し消極的な状況。今度は青本資料から分かりやすい部分を活用し説明用プリントを作成。あわせて理解度チェックも作成。12月ユニット会議で説明と理解度チェックを行う予定。（進行中）

テスト&エラー

再始動②-2 委員会活動へ繋げる

- リスクマネジメント委員会・サービスの質向上委員会と方向性が類似している為、気づいたボードに貼っている問題点の付箋を回収し共々の委員会を招集した委員会活動につなげる予定
- 以前準備をしたラウンドチェック表があるので委員会活動でも役立てたい



ラウンドチェック表

項目	チェック	担当者	完了日
リスクマネジメント	○	〇〇	〇〇
サービスの質向上	○	〇〇	〇〇
その他	○	〇〇	〇〇



～最後に～

環境変化やコロナ蔓延により2年目は1年目で止まっていた多くのことを再始動する動きとなってしまったが、工夫を重ねながら計画を1歩ずつ確実に進めている。

～3年目に向けた今後の課題～

- ① ノーリフティングケアに対する意識向上
 - ・ 主となる委員会メンバー不在時でも対応できる職員の育成
 - ・ 他の委員会と共同での取り組み強化
- ② 実技教育
 - テキストを活用した確実な実技研修の実施継続

